



男子決勝 興南一員志川商 後半18分、ジャンプシュートを決める興南の東江雄斗(13日、八重瀬町東風平運動公園体育館)

激しいアタックを受けたあつたと振り返る。昨年の存在感を示した。植る。が、不動のエアは止めるにまげに就いてからはシュートのホシヨウをこなし、主将の東江は「全体的に仕上がってきた。前空いて1本の精度へのこだわりが、それぞれ切れるのある増した。さらに磨きをかけて動きを見せた真壁陽向はツミが自立った。自分東江雄斗は、わかつた隙で来たシュートは、ゴール1年生はみんな豊から自身ももっと強きを身に付を弾弓にび開け、1.83の背を外れるとはほとんど驚かしている。それがいけていきたい。もっと強いの身長生かした打点のどなかつた。高いシュートを次々と放つ1年生の成長も著しい。だ。チームトップの得点45度で松原優人、ボストの福田浩天、守つては宮後賢は「攻撃は問題ない」と

(新垣和也)

## 東江高き生かしの得点

1年からチームの主力が「最初はシュートが多くて、アッパレ過ぎが

## 不動のエアがけん引

手放して獲めたが、「突点をもっと抑えないといけない」と守りの課題を挙げ

## KBC杯ハンド

高校春季選手権最終日は13日、八重瀬町東風平運動公園体育館で行われ、男子決勝は興南が38-19で真吉川商に勝利。女子決勝は那覇西が37-20で浦添に勝利。それぞれ優勝を決めた。

# 興南 (男子)

# 那覇西 (女子)

高いDFからのうにかりトを守った。後半からは九州大会で優勝して自信をつけている女子・那覇西

○女子の那覇西は、前半にエロカドの累積

で思うように得点できなかったものの、後半からは高

速攻に切り替える得意の

ダイヤルを取り戻した。

初戦で負け、1年生主体で

大々やっただと思つて(調整

の現場。下地監督は「足

が動いていないから、相手

を押し返してしまつてい

にコートを出なければなら

と勝てない。守りを立て直

したい」(古壁選手主将)

田花等のシュートはど

ない時間帯もあったが、慶

と勝たない。守りを立て直

したい」(古壁選手主将)

田花等のシュートはど

ない時間帯もあったが、慶

と勝たない。守りを立て直

したい」(古壁選手主将)



女子決勝 那覇西一浦添 後半、堅い守りでボールを奪い返し、攻撃に転じる那覇西の山田莉姿(左)と由浅日香里(右)

▽男子3位決勝	コ	44	2222	1014	24	陽
▽男子3位決勝	興	38	1919	19	19	興南
▽男子3位決勝	陽	20	9117	10	17	普天間
▽女子3位決勝	那覇西	37	2215	1812	20	浦添

明